



浜松志耀ロータリークラブ 第81回例会

開催日時: 2026年6月11日(木) 7:30 ~ 8:30
開催場所: オークラアクトシティホテル浜松 3階 チェルシーの間

■ 会長挨拶 衛藤会長

ロータリアンのみなさま、おはようございます！

本日は、一般社団法人みらいTALKより伊藤智恵子様お越しいただき誠にありがとうございます。「地域に住む全ての子どもにとってより良い未来や地域社会を築くことを目的とし子どもに関わるさまざまな専門職の人々が集まり活動を行っています」その活動のお話をお聴きできること非常に楽しみにしています。さてもう6月ですね。今年の6月21日は父の日ですね。父と言えば、世界のロータリーの父はアメリカのポール・ハリスですが、日本のロータリーの父は、米山梅吉さんです。そして、私たち浜松志耀ロータリークラブの父は、小澤邦比呂さんです。

「KEEP YOUR NAME CLEAN」ご存じですか？ 日本のロータリーの創始者：米山梅吉さん(以下「米山」という。)]は、多くの言葉を残しました。米山は東京に生まれ4歳で父を亡くし、母の郷里である静岡県三島に育ちました。米山は苦労をしながら勉学に励み、20歳で渡米。8年にわたる学業研鑽をへて帰国。三井銀行に入行し出世街道を進み42歳で三井銀行常務取締役役に上り詰め、後年、三井信託株式会社(現:三井住友信託銀行)の初代社長にもなるが、米山は、ビジネスマンとして絶頂期の47歳での著書『新隠居論』では、西洋に倣い「隠居した人は今迄職務に忙しくて出来なかったことをみつけ、何か社会公衆の為に奉仕するところがなくては人間としての義務を果たしたとは言えない」と提言し、後半生はまさにその著書の思想を体現するかのように、寄付活動、奉仕活動等を活発に行いました。それらの一つが日本初のロータリークラブ創設へとつながりました。米山がアメリカダラスでロータリークラブに出会ったからロータリーを創設したのではなく、元々、米山が若くはアメリカで学んでいた文化的素養をバックボーンにして、第一次世界大戦で史上類を見ないほどの好景気に浮かれていた日本の将来を冷徹に危惧し、日本が西欧から学ぶべき「奉仕の精神」の必要性に早くから気付いていたからこそ、米山は日本にロータリーを導入したのでしょう。米山は、三井信託社長時代、私費で革製の名刺入れを制作し、新入社員一人一人に入社祝いとして手渡していたそうです。その名刺入れには「KEEP YOUR NAME CLEAN」(汝の名を汚すなかれ)と金文字で書かれていたそうです。

「KEEP YOUR NAME CLEAN」と聞きますと背筋が伸びますね。身が引き締まります。NAMEとは、自らの名前だけではなく、自分が経営する会社、従事する会社、自分が所属する団体の名前、自分の関与した仕事の成果物も含めて、全てを総合して、自分の行動や在り方を常に規律(ただし)て行こうとするとても強いメッセージを秘めています。

米山の「奉仕」の行動は多岐に渡りました。当時は最も恐れられ嫌われ、伝染病と言われていたハンセン病に対して、米山は昭和15年から17年にかけて、青森から沖縄までのハンセン病療養所すべてを訪れました。自ら調達した見舞品(お土産)を持って行き一人一人に手渡しました。ハンセン病が世に理解されたのはここ最近です。この米山の信念と勇気ある行動は今も語り継がれています。ほかに、癌を始めとする難病克服のための医療器具等の寄付、当時不治の病とされた結核に対する予防等への取り組み、全国の療養所への訪問。その他、農村振興事業、学術・学校支援等。驚くべきことに、国民健康保険制度を整備するための実験等への支援も行ったようです。

米山は、単にお金を出すことに止まらず、必ず自ら現地に赴いたそうです。その際には必ず自弁で土産物を携えたといわれています。

「愛とは行動であり成果である」(これは私の言葉です)

本日も、よろしく願いいたします。



よいことのため

■ 幹事報告 西川幹事

1. 次年度の例会で、各委員会の担当について、日時や場所が変更になる場合は、事前に会長幹事と相談して下さい
2. 「ロータリーの友」は、印刷版と電子版があります。7月からの各人の希望をお願いします。

■ 各委員会報告

1. 街頭募金について 小澤大志育英委員長

- ・先日の街頭募金を浜松市社会福祉協議会に届けました。

■ 米山奨学生 王馨可さんへ奨学金授与

大学での研究テーマについてお話いただきました。



よいしこころ

身体羞恥感の緩和によって
自己肯定感を促進する
イラストレーション表現に関する研究

静岡文化芸術大学
デザイン研究科
王馨可



■ 議事 卓話「子供の貧困の実態と求められる支援」

(一社)みらいTALK理事伊藤智恵子さん、村山和繁さん、

- ・医師、保健師、保育士、弁護士などの専門職がチームを組んで活動しています。
- ・生活困窮家庭へ、子供の学習支援や食事支援、子供の居場所づくりなど、様々な活動を通して、ネットワークを活用して、子供を支援しています。
- ・子供の貧困が見えない世の中になっています。普通の家庭ができていても、それができない「相対的貧困」が多くなっています。
- ・一人親家庭、親が精神疾患など、まだまだ支援が必要な子どもたちが多数います。



2025-26年度 国際

■ スマイル

- ① 衛藤会長・西川幹事ーみらいTALK伊藤さん村山さんへの御礼
- ② 松井会員ーみらいTALK伊藤さん村山さんへの御礼
- ③ 小澤会員ーみらいTALKさんへの御礼と今後の協力について

※ビジター1名(北谷泰樹太さん) :

※ゲスト3名(みらいTALK伊藤智恵子さん、村山和繁さん、米山奨学生・王馨可さん)

※出席率:71 % (会場21名+BAND1=22名/31名)

国際ロータリー第2620地区 静岡第5グループ 浜松志耀ロータリークラブ
例会場/オークラアクティシティホテル浜松 第2・第4木曜日/7:30-8:30 090-7682-7106

